

R5 玉垣小学校 学校経営の改革方針

◎令和5年度玉垣小学校 目指す学校像

1. 教育目標が目に見える姿として現れる学校
2. 心が通い合う温もりや信頼のもと、人と人とのかかわりを築く学校
3. 教育への使命感と責任感のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校
4. 保護者、地域と連携して子どもを育む学校

学校教育目標

やさしく たのしく げんきよく きらりかがやく 玉垣小

何のために

基礎学力の保障と
学びの場の創造

豊かな心を育む活
動の推進

健康でたくましく
生きる力の育成

鈴鹿型コミュニテ
ィスクールの推進

重点的に何を
するか

- 「話す・聞く」に
焦点を当てた校
内研修の推進
- 学調・みえスタの
分析をもとにし
た学力向上対策
の推進
- ICT活用研修及び
ICTを活かした
「わかる授業」の
推進
- 家庭学習、補充学
習の充実
- 読書活動の充実
(朝読、図書館活
用、読み聞かせ、
家庭読書等)
- 日本語指導の充
実(JSLバドク
-ル等の活用)

- 「仲間づくり」を
中心にした人権
教育の推進
- 特別支援教育の
推進(支援会議の
充実と学校・保護
者・関係機関との
連携強化)
- 配慮が必要な児
童の早期支援体
制の構築
- 多文化共生教育
の推進(保護者対
象の交流会等)
- いじめ、不登校、
虐待等の組織的
対応の徹底(未然
防止・早期発見・
即時対応)

- アロハ運動をも
とにした基本的
生活習慣の定着
化(挨拶、廊下歩
行、履物揃え)
- 体力づくりと食
育、健康教育の推
進
- 環境保全と命の
大切さを学ぶ学
習機会の充実
- キャリア教育の
推進(年間加わり
作成、すずか夢工
房・地域や企業の
人材活用)
- 新型コロナ等の
感染症対策の継
続

- 熟議を中心とし
た学校運営協議
会の開催と取組
の発信
- 学習・図書ラン
ティアの充実
- 子どもの安全・安
心を中軸に地域、
関係機関との連
携強化
- 信頼される学校
を目指すための
学校評価の実施
と、地域との協働
の推進

R5 学校経営基本方針

- 1 「幸せな教職員」が「幸せな子どもたち」をつくる
 - 2 普段が大事（毎日の日々の指導にこそ力を入れる）
 - 授業づくり・・・①贅沢なフランス料理よりも日々のお惣菜料理の充実を
(わかる・楽しい授業, 子どもの意欲をくすぐる授業を)
 - ②授業の中で生徒指導も人権教育も
 - ③主体性を高める授業の工夫（教師自身の主体性, 振り返りの場等）
 - ④協働的な学びの中での個別最適な学び（自己選択させる場等）
 - 学級づくり・・・①子どもとの信頼関係の構築（「受容・共感」と「確かな導き」）
 - ②自己肯定感を高める集団作り（勇気づけ, 価値づけ, 笑顔）
 - ③「ありがとう」が飛び交う集団作り
 - ④発達障がい等すべての子どもの対応に特別支援教育の手法活用
- 3 学級担任ではなく, 学年全員で学年担任という意識を
(子どもへの指導, 保護者対応, 交換授業)
 - 4 報告・連絡・相談（些細なことだと思いうことでも学年や管理職と共通理解）

※ 教職員の総勤務時間縮減に向けた取組

- ・目的は, 子どもたちへの教育効果の向上（目的と手段を間違えない）
- ・留守番電話の設置（18:00～7:30）
- ・月2回の定時退校日（その日がどうしても無理な場合, 個人で別日を設定する）
- ・ズレ勤務, 変形労働時間等の柔軟な勤務体制の推進。
- ・校務を「やめる→減らす→変える」で削減する。
- ・目標
 - 1人当たりの月平均時間外労働 25時間以下（R4は31.1時間）
 - 年360時間を超える時間外労働者数 0人（R4は29人）
 - 月45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人（R4は155人）
 - 1人当たりの年間休暇取得日数 28日以上（R4は27.5日）
 - 設定した日の定時に退校できた職員の割合 70%（R4は60.7%）
 - 放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 70%以上（R4は56.7%）

※ 不登校対策

- ・欠席情報, 児童観察・家庭訪問等の情報共有
- ・担任と児童支援担当, 養護教諭, SC, SLS, 管理職, 関係機関との連携
- ・自分の居場所がある温かい学級づくりと対象児童の一時的な居場所づくり